

大学院農学研究科博士課程前期課程

●教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、農学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」及び農学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、先端融合科学特論Ⅰ、食料・環境・健康生命及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を学生に身につけさせるため、授業科目を開設するとともに修士論文に係る研究指導を行う。課程を通して実施される研究指導は、主指導教員及び副指導教員による複数指導体制で行い、2年次の研究経過発表会等を通して、研究の遂行及び修士論文の作成に関して指導する。

・食料共生システム学専攻・生産環境工学講座

- ・「食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その解析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる工学的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。

なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座

- ・「食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・社会調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる社会経済的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・資源生命科学専攻・応用動物学講座

- ・「食や農に関わる動物科学の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる動物科学の専門知識や技術にもとづき、適正な観察・実験を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる動物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。

なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・資源生命科学学専攻・応用植物学講座

- ・「食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる植物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・生命機能科学専攻・応用生命化学講座

- ・「食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・実験を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる生命化学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・演習・実験等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・生命機能科学専攻・農環境生物学講座

- ・「食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう課題開発演習及び特定課題演習を開設する。
- ・「食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる生物学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力」を身につけることができるよう特定課題演習及びプレゼンテーション演習を開設し、修士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

大学院農学研究科博士課程後期課程

●教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、農学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」及び農学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、先端融合科学特論 II 及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、分野特有の高度な「専門性」を学生に身につけさせるため、授業科目を開設するとともに博士論文に係る研究指導を行う。課程を通して実施される研究指導は、主指導教員及び副指導教員による複数指導体制で行い、1・2年次の研究経過発表会及び最終年次の研究成果発表会等を通して、研究の遂行及び博士論文の作成に関して指導する。

・食料共生システム学専攻・生産環境工学講座

- ・「食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を多面的かつ精確に行い、その解析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる工学的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座

- ・「食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・社会調査を多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる社会経済的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・資源生命科学専攻・応用動物学講座

- ・「食や農に関わる動物科学分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる動物科学分野の専門知識や技術にもとづき、適正な観察・実験を多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる動物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・資源生命科学学専攻・応用植物学講座

- ・「食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる植物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・生命機能科学専攻・応用生命化学講座

- ・「食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・実験を多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる生命化学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・演習・実験等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

・生命機能科学科専攻・農環境生物学講座

- ・「食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解し、応用する能力」を身につけることができるよう必要と認める授業科目を開設する。
- ・「高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設する。
- ・「食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力」及び「食や農に関わる生物学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用する能力」を身につけることができるよう特定研究を開設し、博士論文に係る研究指導を行う。
なお、これらの科目は、講義・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

食料共生システム学専攻・生産環境工学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 地理情報システム1	地理情報システム2	生体計測論1	生体計測論2				
専門性	食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解する能力	流域システム論1 施設環境論1 地理情報システム1 環境・食品衛生工学1	流域システム論2 施設環境論2 施設機能工学 地理情報システム2 アグリフードプロセス制御論 環境・食品衛生工学2	流域水文環境論1 土地環境制御学1 施設環境学基礎論1 施設機能工学 土・車両システム論1 生体計測論1 栽培工程論1	流域水文環境論2 土地環境制御学2 施設環境学基礎論2 土・車両システム論2 生体計測論2 栽培工程論2				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる工学的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導 Intermediate Techniques in English Speech Delivery	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導

食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を包容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 開発経済論	農業組織経営学 国際農業論	食料環境経済論 社会経済情報論1	社会経済情報論2				
専門性	食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解する能力	食料産業システム論1 開発経済論	農業組織経営学 食料産業システム論2 国際農業論	食料環境経済論 社会経済情報論1	社会経済情報論2				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる社会経済的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導 Intermediate Techniques in English Speech Delivery	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導

資源生物科学専攻・応用動物学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 動物生殖細胞学1 栄養代謝機構学1		共棲生物機構学1 雄性繁殖生理学1 有用動物資源学1					
専門性	食や農に関わる動物科学分野の先端的な知識を理解する能力	動物生殖細胞学1 動物発生工学 シグナル分子機構論1 栄養代謝機構学1 動物分子形態学1	動物ゲノム学 動物生殖細胞学2 シグナル分子機構論2 栄養代謝機構学2 動物分子形態学2 動物感染機構学	共棲生物機構学1 雄性繁殖生理学1 動物代謝制御学1 生体防御機構学1 有用動物資源学1	共棲生物機構学2 動物代謝制御学2 生体防御機構学2 微生物分子生態学 有用動物資源学2				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる動物科学分野の専門知識にもつぎ、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる動物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導

資源生物科学専攻・応用植物学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 資源植物生理生化学		森林・緑地環境学A	植物分子育種方法論 森林・緑地環境学B 野菜生産開発論A				
専門性	食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解する能力	資源植物生理生化学 園芸資源利用学	園芸植物防除・育種論 花卉生産開発論 果実成熟生理学 有用生物利用学(連携)	森林・緑地環境学A 植物遺伝資源利用学 ゲノム園芸学 熱帯植物生理学	植物分子育種方法論 森林・緑地環境学B 野菜生産開発論A 野菜生産開発論B 熱帯植物生産学				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる植物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導 Intermediate Techniques in English Speech Delivery	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導

生命機能科学専攻・応用生命化学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 応用微生物学*							
専門性	食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解する能力	分子細胞生物学 生理活性分子論1 植物機能化学 動物性食品機能論 応用微生物学 食品生理機能学A	生理活性分子論2 分子栄養学 糖質機能成分開発論 タンパク質構造・機能論 食品生理機能学B	蛋白質化学 機能分子有機化学論1 天然物合成論1 植物酵素化学1 動物性資源化学論 微生物ゲノム学	機能分子有機化学論2 天然物合成論2 植物酵素化学2				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる生命化学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導 Intermediate Techniques in English Speech Delivery	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導

生命機能科学専攻・農環境生物学講座 カリキュラムマップ

		1年次				2年次			
		前期		後期		前期		後期	
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	課題開発演習 研究指導	課題開発演習 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導
	他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-1	特定課題演習 I-2	特定課題演習 I-2	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-1	特定課題演習 II-2	特定課題演習 II-2
創造性	複眼的に思考する能力	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b	先端融合科学特論 I-a 先端融合科学特論 I-b				
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力		Intermediate Techniques in English Speech Delivery						
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力	食料・環境・健康生命(英語編) ゲノム機能制御学1		生体応答細胞学A	環境分子計測科学				
専門性	食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解する能力	根圏土壌化学1 植物無機栄養学1 環境分子制御科学1 環境バイオアッセイ論1 ゲノム機能制御学1 昆虫管理学1	根圏土壌化学2 植物無機栄養学2 環境分子制御科学2 環境バイオアッセイ論2 ゲノム機能制御学2 昆虫管理学2	土壌機能解析学1 光合成生理生化学1 栽培植物進化学1 植物発生遺伝学A 生体応答細胞学A 植物病害診断技術論A 時間生物学1 群集生態学1	土壌機能解析学2 光合成生理生化学2 栽培植物進化学2 植物発生遺伝学B 生体応答細胞学B 環境分子計測科学 植物病害診断技術論B 時間生物学2 群集生態学2				
	高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定する能力	食料・環境・健康生命(英語編) 課題開発演習	課題開発演習	食料・環境・健康生命(環境編)A 食料・環境・健康生命(食料編)A 食料・環境・健康生命(健康生命編)A 特別連携講義	食料・環境・健康生命(環境編)B 食料・環境・健康生命(食料編)B 食料・環境・健康生命(健康生命編)B 特別連携講義				
	食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述する能力	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-1 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 I-2 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-1 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導	特定課題演習 II-2 研究指導
	食や農に関わる生物学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用する能力	プレゼンテーション演習 I 研究指導	プレゼンテーション演習 I 研究指導 Intermediate Techniques in English Speech Delivery	プレゼンテーション演習 II 研究指導	プレゼンテーション演習 II 研究指導	研究指導	研究指導	研究指導	研究指導